

時間割：全6回（講義 135 分＋事例検討 90 分）

講義 /13:00～15:15 事例検討 /15:30～17:00

	月日	講義 (13:00-15:15)	事例検討
1	2018年 5月13日	<p>講座 1. 児童虐待の原因は愛着関係の不成立</p> <p>A. 愛着関係とはどういうものか / 子を守る母親の「母性」</p> <p>B. 虐待の4つの類型と背景にある愛着関係の不成立 (=「心理的ネグレクト」) / 重症度5段階の理解と対応方法 / 代理ミュンヒハウゼン症候群</p> <p>C. 母子の間に愛着関係が成立しない理由</p> <p>1. 母親に「軽度」知的能力障害がある場合 2. 母親に精神障害がある場合 3. 母親に被虐待体験がある場合</p>	<p>(15:30-17:00)</p> <p>● 事例検討は、実際の事例を講師から提示・解説します。</p> <p>● 事例検討に当たっては<b>守秘義務の厳守</b>をお願いします。</p> <p>● 下記の事例が予定されていますが、事情により変更する場合があります。</p>
2	7月1日	<p>講座 2. 母親の「軽度」知的能力障害と虐待との関係</p> <p>A. 母親の「軽度」知的能力障害を理解する 知的能力障害の精神医学的理解 / 厚労省の虐待死亡事例統計を読み解く</p> <p>B. 母親の「軽度」知的能力障害と虐待内容との関係 母親の養育能力を「軽度」知的能力障害～境界知能に分けて検討し、虐待の内容を分析する</p>	<p>● 下記の事例が予定されていますが、事情により変更する場合があります。</p>
3	9月30日	<p>講座 3. 「虐待の世代間連鎖」のように見えるもの</p> <p>A. 虐待の心因説と世代間伝達の理論 / 愛着理論とその研究 (SSP, AAI 法)</p> <p>B. 「虐待する親」についての研究 / 児童虐待についての理論 『心的外傷と回復』(ジュディス・ハーマン)</p> <p>C. 「被虐ママ」の心理的理解 解離性障害とそれに近い心理状態の理解 / 社会・対人恐怖</p>	<p>①MR* の母親によるネグレクト・心理的虐待の事例 (子の生命が危惧され、児相介入)</p> <p>②MR* の母親によるネグレクト事例 (夫のDV* 問題をきっかけに事例化、児相通告)</p> <p>③MR* の母親によりネグレクトされた息子が発達障害と誤診された事例</p> <p>④被虐ママ* が心理的に追い詰められて子を死亡させてしまった事例</p> <p>⑤子を愛せないで悩んでいた被虐ママ* の回復事例 (愛着関係の再構築の経過)</p>
4	11月11日	<p>講座 4. 被虐待児の不応答問題</p> <p>A. 反応性愛着障害 / 脱抑制型対人交流障害</p> <p>B. 被虐待児が誤解されやすい発達障害・精神疾患・引きこもり</p> <p>C. 普通の家庭で育った支援者が被虐待児を誤解してしまう心理 「試し行動」を再考察する / 恐怖による愛情拒絶 (愛着の否認)</p>	
5	2019年 1月20日	<p>講座 5. 「被虐ママ」の子育て支援</p> <p>A. 「被虐ママ」を知る 幼少時に受けた虐待 / 子育て不安の内容 / 誤診された子の事例</p> <p>B. 子育て不安と子を愛せない心理 産後うつ / 育児不安 / 「赤ちゃん部屋のお化け」(セルマ・フライバーグ)</p> <p>C. 「被虐ママ」の回復と支援方法 子育てを通じて愛着関係を回復するプロセス / カウンセリングの方法</p>	
6	3月10日	<p>講座 6. 子と母を守るためのケースワークの実際</p> <p>A. 母親に「軽度」知的能力障害がある場合の支援方針 母親と友好的な関係を保ちながら→子を直接に守る</p> <p>B. 被虐待児を養育する里親家庭 里親養育の困難さとタブー / 支援の課題と「つながり」への着目</p> <p>C. 母親が正常な場合の支援方針 母親を心理的に理解する / 地域での支援体制を整える</p>	<p>MR* : 軽度知的能力障害 (mild Mental Retardation)</p> <p>DV* : 配偶者間暴力 Domestic Violence</p> <p>被虐ママ* : 幼少時に虐待を受けた体験を持つ子育て中の母親</p>